参考資料　3

文化芸術振興に関する各調査結果・データについて

1　県の施策に関する県民意識調査結果（概要）　～文化芸術振興に対する県民の意識は？～

この調査結果は、県調査統計課が行った「県民意識調査結果」から文化芸術振興に関する部分を抜粋したものです。

（1）平成26年度調査結果

ア　調査概要

調査対象	県内に居住する20歳以上の男女
調査対象者数	5,000人
抽出方法	選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
調査方法	設問票によるアンケート調査（郵送法）

調査時期	平成26年1～2月
調査主体	岩手県（政策地域部調査統計課）
有効回答数	3,548人
有効回収率	71.0%

イ　調査結果

設　問　あなたの暮らしにとって、**調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要**と考えますか。
あなたの現在の暮らしからみて、**調査項目の状態についてどれくらい満足**していますか。

＜県施策の中での「No.35 地域や学校での文化芸術活動」に対する県民意識の状況＞

○　重要度
46項目中（H24までは45項目中）、45位（H23）→45位→46位→46位（H26）、と**重要度は最下位を推移**している。

○　満足度
4位（H23）→2位→2位→2位（H26）と高順位を推移しており、**満足度は高い傾向**にある。

○　ニーズ度
重要度・満足度が同レベルで推移していることから、**ニーズ度も低い水準で推移**している。

7つの政策	番号	項　目
①産業・雇用	1	県内経済の活性化
	2	次世代を担う産業人材育成
	3	地域資源を活用した製品開発・販売
	4	魅力ある観光地づくり
	5	商店街のにぎわい
	6	中小企業の経営力の向上
	7	海外での県産品の販路拡大
	8	安定した就職環境
②農林水産業	9	農林水産業の担い手確保
	10	ニーズにあった農林水産物の産地形成
	11	農林水産物のブランド確立
	12	活力ある農山漁村の形成
	13	環境に配慮した農林水産業の経営
③医療・子育て・福祉	14	適切な医療体制
	15	健康に関する相談・指導
	16	安心な子育て環境整備
	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり
④安全・安心	18	充実した地域防災
	19	犯罪への不安の少ない社会づくり
	20	交通事故の少ない社会づくり
	21	消費者トラブルへの適切な相談や支援
	22	購入する食品の安全性に不安を感じない社会
	23	移住や来訪による地域活力向上

7つの政策	番号	項　目
④安全・安心	24	市民活動へ参加しやすい社会
	25	地域全体での青少年の健全育成
	26	個性と能力を発揮できる社会の実現
⑤教育・文化	27	学校と地域との協力
	28	子どもの学力向上に向けた教育
	29	人間性豊かな子どもの育成
	30	子どもの体力向上
	31	全ての子どもが学べる環境
	32	自分に適した内容や方法で学べる環境
	33	大学の地域社会貢献
	34	郷土愛の向上に向けた取組
	35	**地域や学校での文化芸術活動**
	36	外国人も暮らしやすい地域社会
	37	県出身スポーツ選手の活躍
⑥環境	38	地域での温暖化防止の取組
	39	ごみ減量やリサイクルの定着
	40	自然環境を大切にした生活
⑦社会資本・公共交通・情報基盤	41	交通や物流の拠点に通じる道路整備
	42	災害に強く安心して暮らせる県土
	43	生活基盤整備が進んだ生活環境
	44	社会資本の維持管理
	45	公共交通機関の維持・確保
	46	通信ネットワークの活用

注　項目は設問分を要約して記載している。
→　**No.35全文：地域や学校などで文化芸術（芸術、祭り、行事など）の鑑賞や活動が活発に行われていること。**

【重要度】

＜重要度が高い項目＞

順位	(H25順位)	番号	項　目
1	(1)	14	適切な医療体制
2	(3)	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり
3	(2)	20	交通事故の少ない社会づくり
4	(5)	19	犯罪への不安の少ない社会づくり
5	(4)	42	災害に強く安心して暮らせる県土

＜重要度が低い項目＞

順位	(H25順位)	番号	項　目
46	(46)	7	海外での県産品の販路拡大
45	(45)	36	外国人も暮らしやすい地域社会
44	**(43)**	**35**	**地域や学校での文化芸術活動**
43	(42)	24	市民活動へ参加しやすい社会
42	(38)	46	通信ネットワークの活用

【満足度】

＜満足度が高い項目＞

順位	(H25順位)	番号	項　目
1	(1)	39	ごみ減量やリサイクルの定着
2	**(2)**	**35**	**地域や学校での文化芸術活動**
3	(5)	37	県出身スポーツ選手の活躍
4	(3)	19	犯罪への不安の少ない社会づくり
5	(4)	46	通信ネットワークの活用

＜重要度が低い項目＞

順位	(H25順位)	番号	項　目
46	(46)	8	安定した就職環境
45	(44)	9	農林水産業の担い手確保
44	(45)	5	商店街のにぎわい
43	(42)	2	次世代を担う産業人材育成
42	(43)	1	県内経済の活性化

【ニーズ度】　※ ニーズ度＝重要度－満足度 (→重要度が高く、住民の満足度が低い状態を(行政)ニーズ度が高いと読む。)

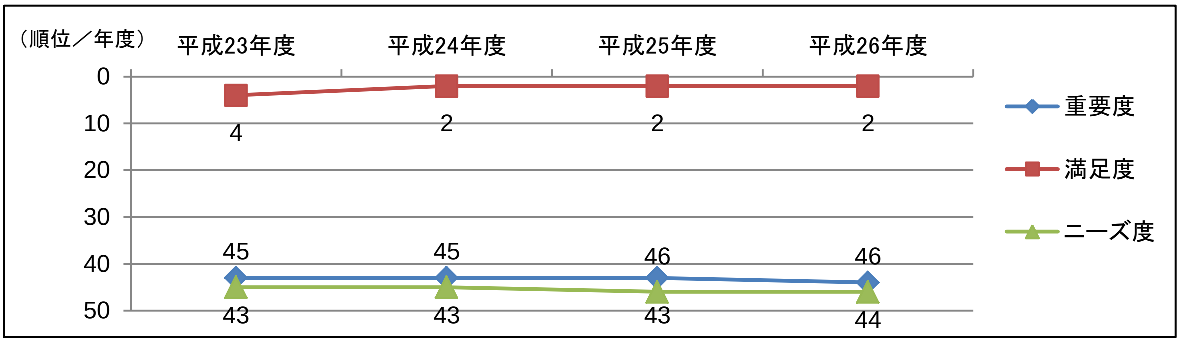
＜ニーズ度が高い項目＞

順位	(H25順位)	番号	項　目
1	(1)	8	安定した就職環境
2	(2)	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり
3	(3)	42	災害に強く安心して暮らせる県土
4	(6)	9	農林水産業の担い手確保
5	(4)	16	安心な子育て環境整備

＜ニーズ度が低い項目＞

順位	(H25順位)	番号	項　目
46	**(46)**	**35**	**地域や学校での文化芸術活動**
45	(45)	37	県出身スポーツ選手の活躍
44	(42)	46	通信ネットワークの活用
43	(43)	24	市民活動へ参加しやすい社会
42	(44)	36	外国人も暮らしやすい地域社会

＜参考：「No.35 地域や学校での文化芸術活動」順位の推移＞

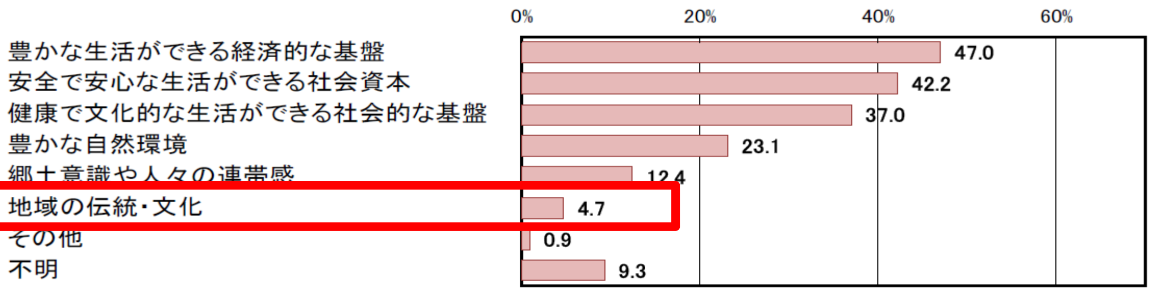


(2) 単年度設定の設問(平成23年度以降)

ア 平成26年度

設　問	あなたは**次の世代に何を残したいですか。**(2つまで)　　※平成26年度のみの設問

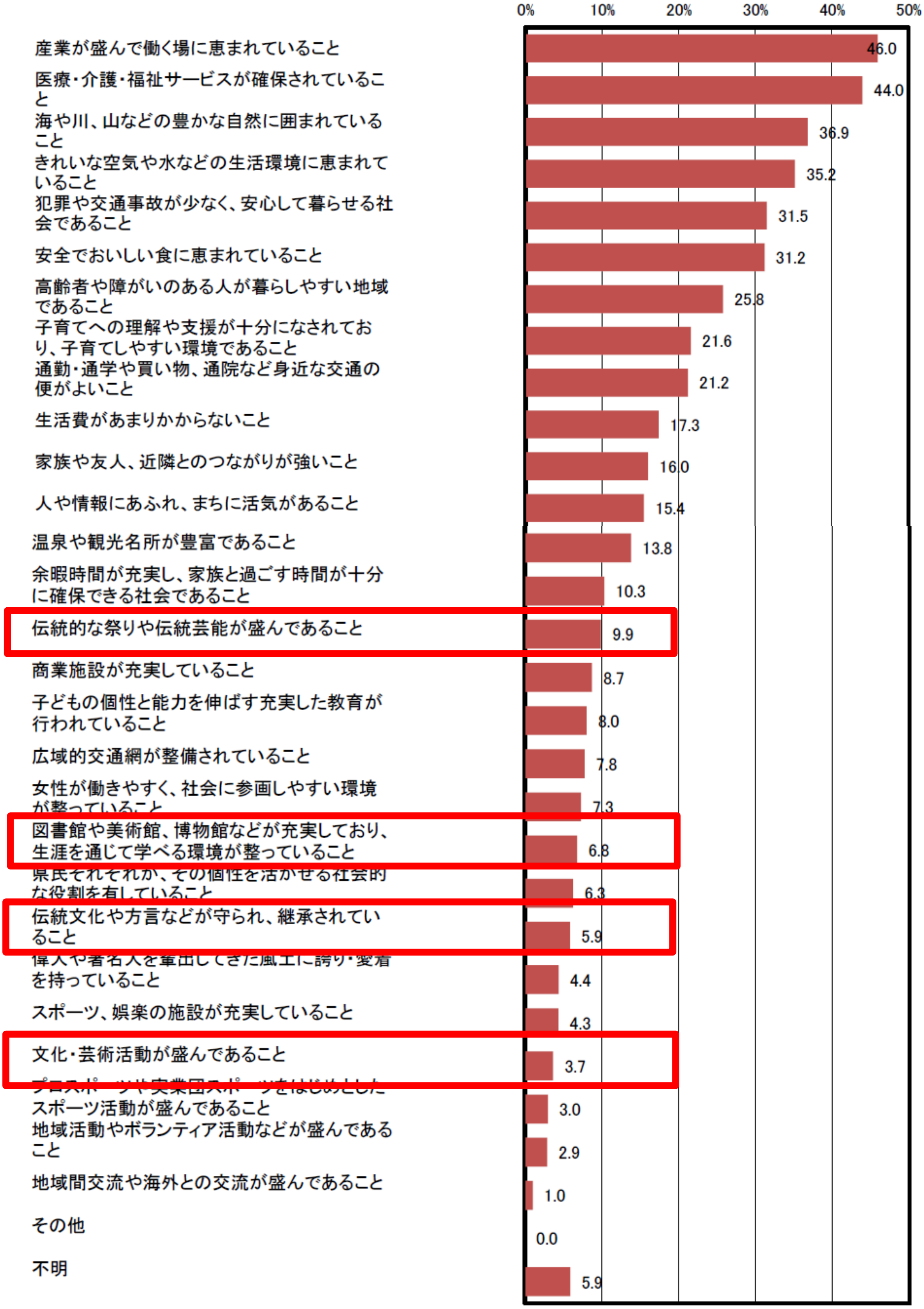
「地域の伝統・文化」を次の世代に残そうとする意識は、**相対的に低い**状況。



イ　平成25年度

設　問	「ゆたかな」県であるには、どのような要素を満たすことが重要だと思いますか。（5つまで）

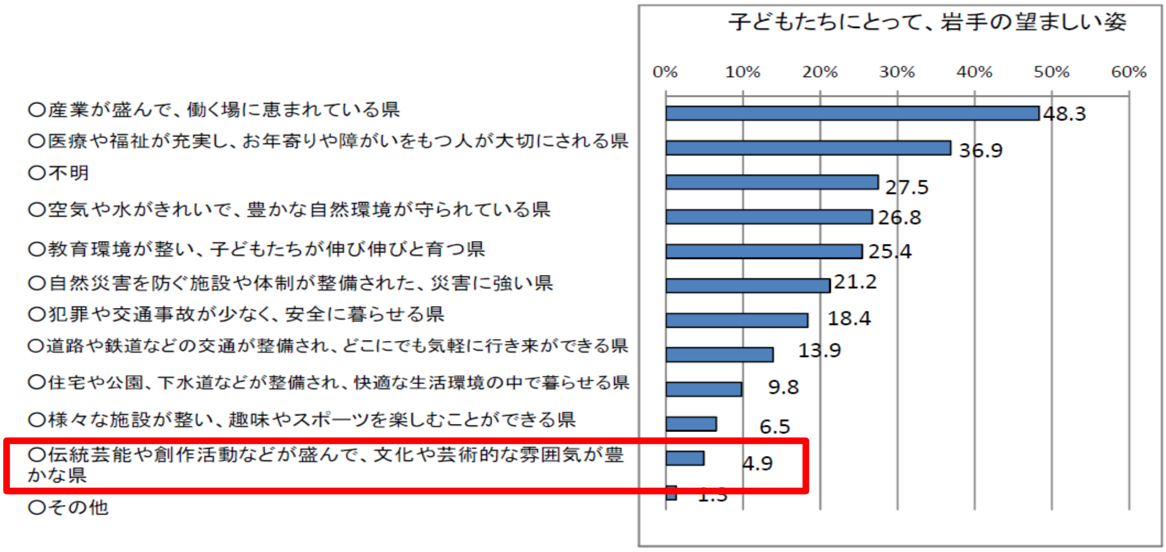
○ **「ゆたかな県であるための要素」**について、**文化芸術関連の重要度は中位から下位に位置**している。
○ **文化芸術関連の要素**においては、**「伝統的な祭りや伝統芸能が盛んであること」**を求める意見が**最も多い。**



ウ　平成24年度

設　問	**これからの子どもたちにとって、岩手県がどのようなところになっていることが望ましいか**、あなたの考えに近いものを選んでください。（3つまで）

文化芸術の豊かさを望む意見は、**相対的に低い**状況。

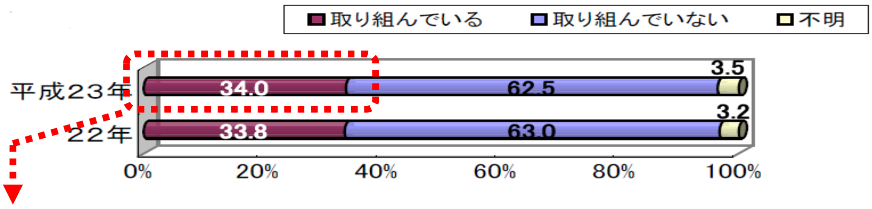


エ　平成23年度

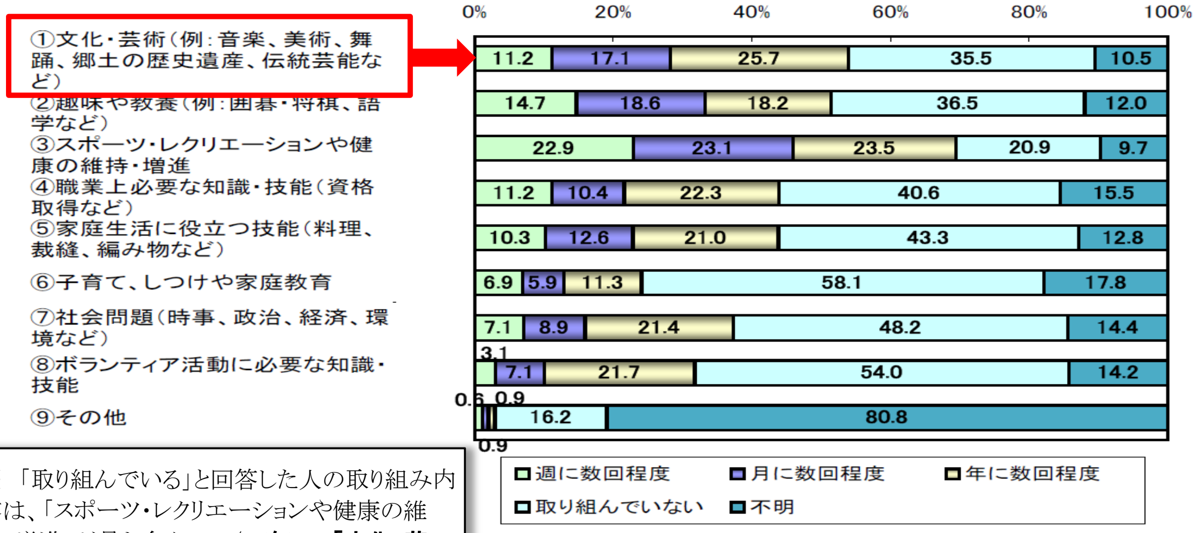
設問A	**生涯学習**に取り組んでいますか。

生涯学習に取り組んでいる人のうち、**文化芸術を行っている人の割合**は、**スポーツ・レクリエーション等に次いで多い。**

①　取り組んでいる人の割合



②　（取り組んでいる場合）その内容と頻度

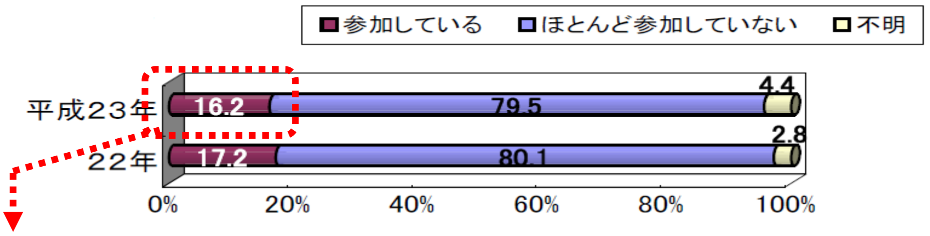


※「取り組んでいる」と回答した人の取り組み内容は、「スポーツ・レクリエーションや健康の維持・増進」が最も多く69.5%、**次いで「文化・芸術」の54.0%**となっている。

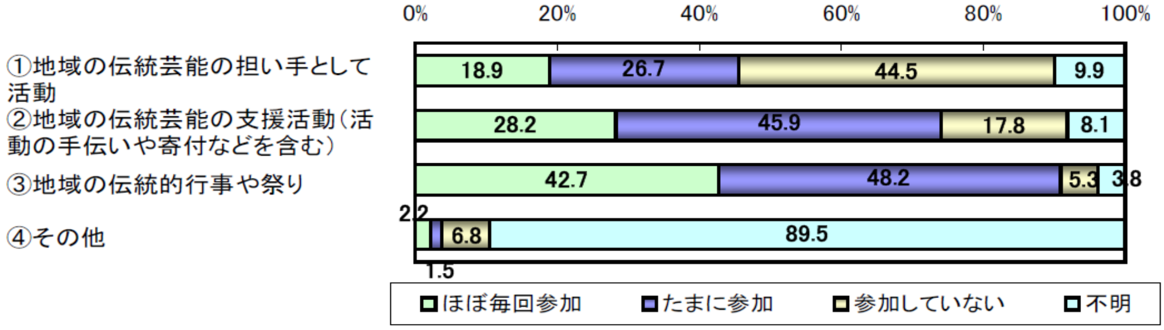
設問B	**地域の伝統芸能活動に参加**していますか。

地域の伝統芸能活動に参加している人の割合は、**16.2%と低い**状況である。
（→　**地域の伝統芸能の担い手不足**を反映）

①　参加している人の割合

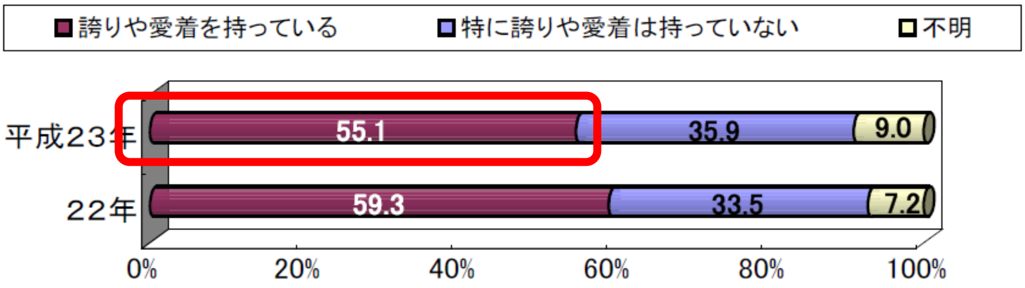


②　（参加している場合）その活動内容と頻度



設問C	**本県の歴史遺産や伝統文化に誇りや愛着**を持っていますか。

過半数以上の回答者が、**本県の歴史遺産・伝統文化に誇りや愛着**を持っている。



2 企業・事業所行動調査(概要)　　～従業者が行う文化芸術活動への支援はどのような状況か？～

この調査結果は、県調査統計課が行った「企業・事業所調査結果」から文化芸術振興に関する部分を抜粋したものです。

【平成24年度調査結果】　※隔年実施：平成26年度は現在調査中

(1) 調査概要

調査対象	県内に所在する従業者規模10人以上の民営事業所
調査対象者数	1,000事業所
抽出方法	事業所母集団データベースの母集団情報(平成21年経済センサス-基礎調査結果による)から抽出

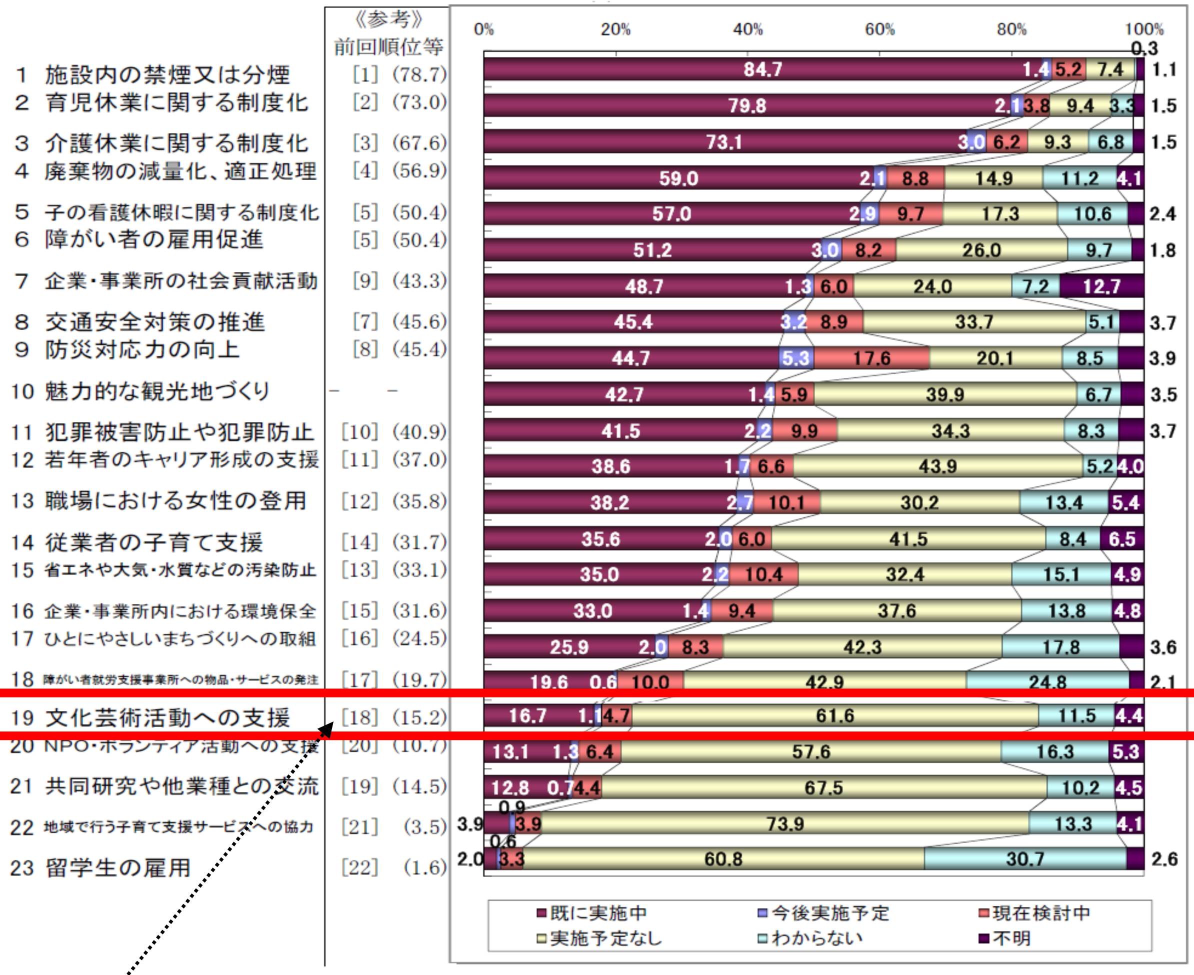
調査方法	設問票によるアンケート調査(郵送法)
調査時期	平成24年7月～8月
調査主体	岩手県(政策地域部調査統計課)
有効回答数	658社
有効回収率	65.8%

(2) 調査結果

設問A	**貴事業所では、〇〇(全23項目)に取り組んでいますか。**

「文化芸術活動への支援」の行動率(既に実施している率)は**16.7%、全23項目中19位**となっている。

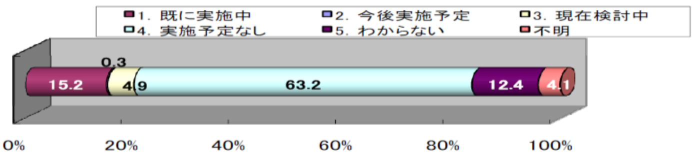
＜行動率が高い順＞(数値は%)



＜参考： 前回調査(平成22年度)＞

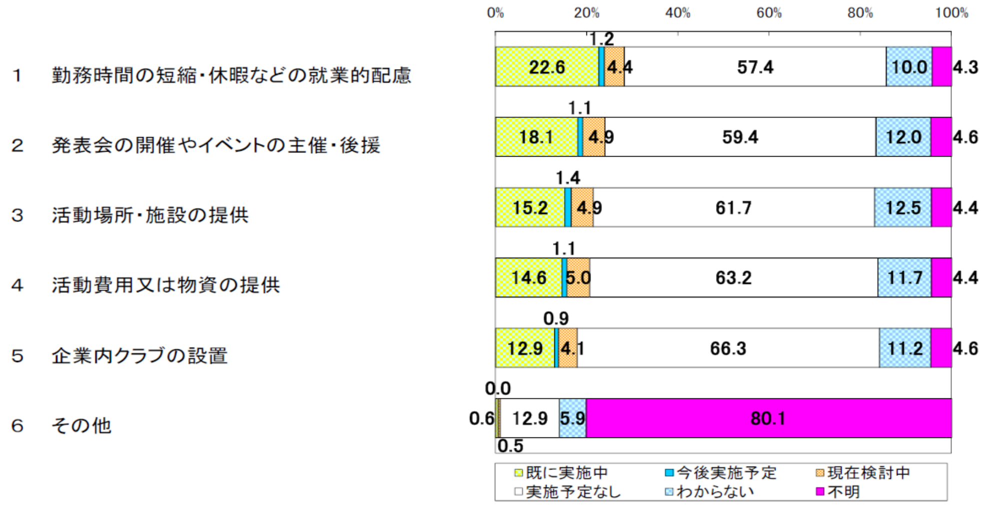
○ 全22項目中：18位

○ 行動率は15.2%(右記グラフのとおり)

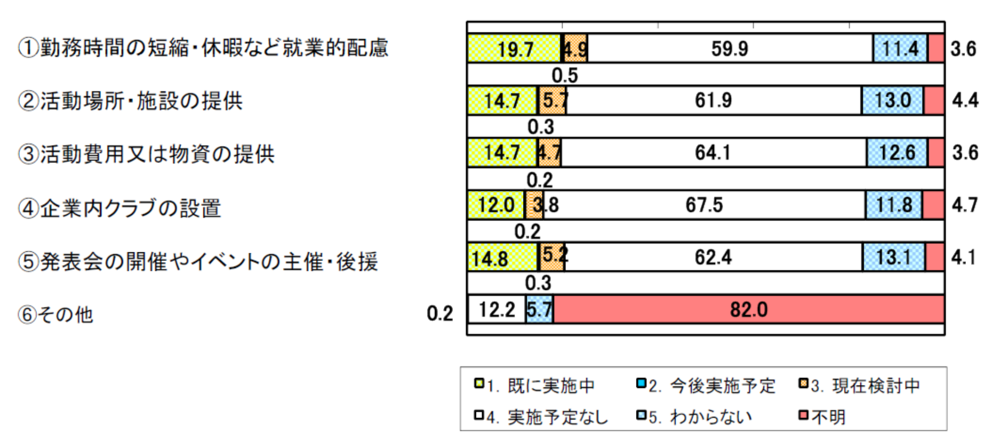


設問B　**従業者が行う文化芸術活動**（地域の伝統芸能活動への参加も含む）**への支援**について、**どのような取組**を行っていますか。

個々の項目をみると、**「勤務時間の短縮・休暇などの就業的配慮」が最も高く22.6%、**次いで「発表会の開催やイベントの主催・後援」が18 1%「活動場所・施設の提供」が15.2%などとなっている。

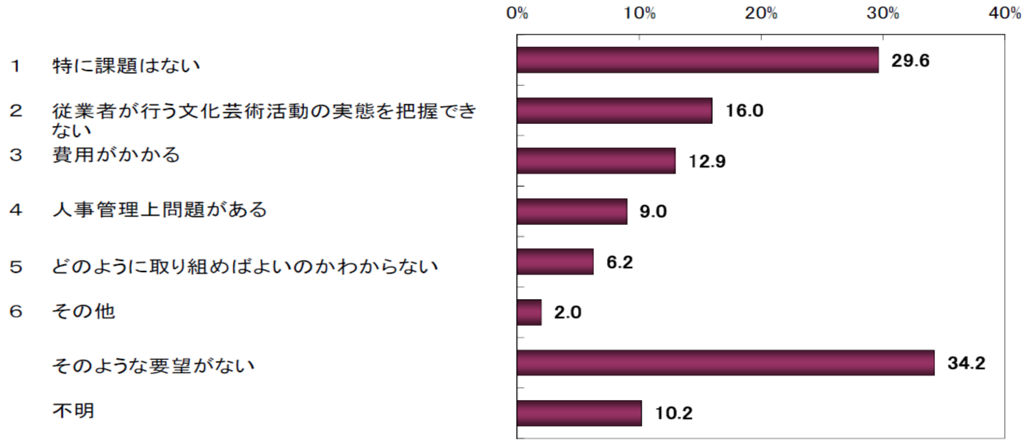
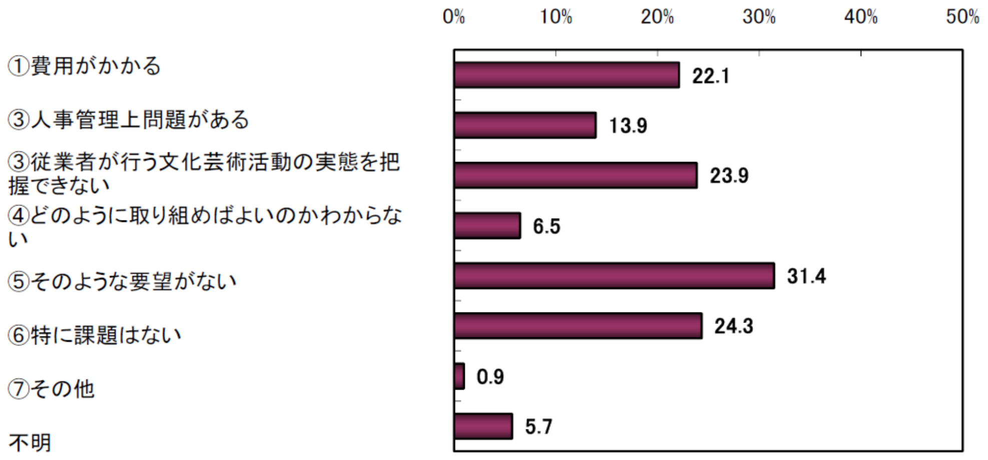


＜参考：　前回調査（平成22年度）＞



設問C　**取組（従業者が行う文化芸術活動）を進めるうえでの、また、今後、取り組むとした場合の課題**は何ですか。

○　取組を進めるうえでの課題は、**「特に課題はない」が最も多く29.6%、**次いで「従業者が行う文化芸術活動の実態を把握できない」が16.0%などとなっている。



＜参考： 前回調査（平成22年度）＞